

学力の定着と生活を見つめ直す～全国学力・学習状況調査分析結果より～

4月21日に実施した全国学力量習状況調査（対象中学校3年生）の、本校の分析結果（概要）を報告します。（この調査結果は前年度の既習内容の一部で、本年度の成績の対象とはしていません）

【学力調査：国語・数学・理科】（○が成果，●は課題）

○各教科の「知識」「活用」とともに、本校の正答率は全国の平均正答率を大きく上回っていました。とりわけ、数学の知識面の「資料の活用」の領域と活用面の「関数」、および理科の「科学的な思考・表現」の正答率が、全国平均よりかなり高くなっています。

●国語と数学は、主として「知識」に関する問題に比べ、主として「活用」に関する問題の正答率が低いという結果になっています。理科については、活用より知識を問う問題の正答率の方が低いという結果になっています。「活用」の力を高めるため、引き続き確かな知識・技能を身に付けさせ、これを活用する場面でコミュニケーション力をつけさせ、思考力・判断力・表現力が高まるような授業を工夫していきます。

【学習状況調査】（○が好ましい点，●は心がけたい点）

生活習慣

- 毎日、朝食を食べている。
- 本を読む（図書館へ行く）。
- 物事を最後までやり遂げて、喜びを感じている。
- 毎日、同じ時刻に起きている。
- 家の人と学校の話をする。

学習面・学校生活

- 総合学習で、課題設定、情報収集・処理、発表等に取り組める。
- 原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しくない。
- 自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しくない。
- 家で自分で計画を立てて学習している。
- 家で学校の宿題や授業の予習や復習をしている。

人としての生き方

- ◎ 地域の行事に参加している。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 難しいことに失敗を恐れず挑戦する。
- 自分には、よいところがある。

上記の内容のほか、睡眠時間と学力の関係についても注視し、家庭生活と協働しながら、生徒の夢が叶う指導を進めて参りますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



和歌・百人一首に親しむ



ふれあいハイキング実行委員

11月6日第2回コミュニティー講座の一コマ*このほか、バードウォッチングも実施



うどんづくりのコツは？



新企画、クリスマスリース



定番、コンピュータ教室



オリジナル・ブレスレッド



熱烈ファンの絵手紙



バージョンアップ砂時計



伝統の三味線



迫力の和太鼓